

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年11月13日

【2017年11月4日～2017年11月10日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドル、対円で上昇しました。また、2年国債金利は上昇しました。

ブラジル金融市場は、年金改革の成否を巡る政治情勢に左右される展開となりました。週前半にテメル大統領が連立政党のリーダーとの会合で、年金改革法案の推進を断念することを示唆するような発言を行ったと報道されたことから金利が上昇しました。しかし、その翌日にはメイレス財務相ら閣僚がこの発言を否定したほか、大統領自身もSNSを通じて国民に年金改革法案への支持を呼びかけるなど、政府が改めて改革推進の意志を示した結果、金利は一転して低下しました。さらに週後半には、法案通過に必要な支持を得るために、連立与党内で法案修正に向けた協議に入ったと報じられました。

経済指標では、10月のIPCAインフレ率が発表され、前年比2%台後半へとインフレは小幅に加速しました。しかし、水準自体は市場予想をわずかに下回るものであったため、特に材料視はされませんでした。

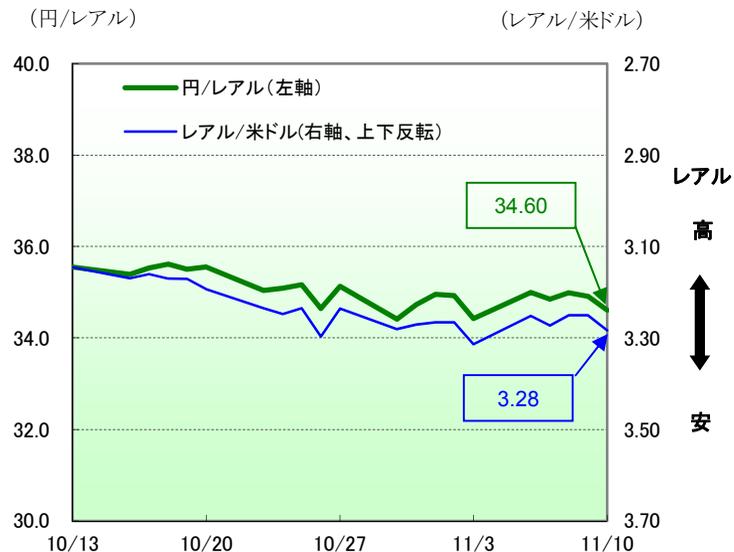
### 【2】今週の見通し

年金改革法案の成否は現在、一つの山場を迎えつつあります。現段階において既に上院での採決が2018年に先送りされることはほぼ確定的な状況となり、大統領選を巡る動きが活発化する前に採決を終えるためには、少なくとも下院での法案可決は2017年中に終える必要があるとされています。憲法に修正を加える同法案の可決には、上下院ともに5分の3以上の賛成票が必要ですが、2018年に議会総選挙を控えている与党議員からも強固な抵抗に直面していることから、政府は下院での可決に最低必要な308票のうち260～280票程度しか確保できていない模様です。

このため、政府側が法案内容の修正によって連立政党からさらなる支持を上積みできるかが当面の焦点となります。こうした妥協により財政再建が後退することは否めませんが、現時点で出来る限りの改革を推進し、さらにはその成果を次期政権に引き継げるように整備しておくことは、ブラジル経済および金融市場の信認につながるものと考えています。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2017年10月13日～2017年11月10日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2017年10月13日～2017年11月10日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>